

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式 2

公表日:令和7年1月20日

事業所名:かたつむりハウス上津台

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースの十分な確保	適切に確保出来ている。	適切である。	なし
	2 職員の適切な配置や専門性	出来ている。	適切だと思う。	なし
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	特性や目的に応じて対応している。	どちらともいえない。	なし
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	確保出来ている。	確保出来ていると思う。	その都度、工夫して確保している。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日の振り返りに基づいて、目標設定をして、積極的取り組んでいる。		前日の行動を振り返り、話し合いを行い、当日取り組んでいる。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	相談員からの意見を基に、改善している。		相談員とのモニタリング時に、問題点などを聞き、改善するよう職員と話し合っている。

	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	研修会に積極的に参加している。		受講した研修を職員間で共有している。
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	実施している。毎月、職員全員で支援方法・計画等話し合っている。	適切だと思う。	毎月、支援内容について、話し合っている。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	出来ている。		利用日のメンバーで出来る療育を考えている。また、集団活動の難しい子に対しては、個別で対応している。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	具体的に記載している。		保護者用のファイルに、当日の療育内容等記録している。
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	実施している。	出来ている。	実施した内容は、保護者用ファイルに記録している。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	実施している。	出来ている。	毎日計画を立てて、実施している。

	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	支援している。		休日や長期休暇の長時間時の時には、クッキングや工作、遠足、畑作業等のイベントを実施している。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	利用者に応じて工夫している。		利用者に応じて決めている。イベントについては、毎年1年間の計画案を立て、職員間で決めている。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始前に役割等を確認している。		職員間で支援内容等、調整や確認をしている。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	実施している。		支援、終了後、振り返り・気づいた点を話し合っている。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	実施している。		支援終了後、職員間で話し合っ、改善している。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	実施している。		確認している。
	関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	参加している。	

2	<p>(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)</p> <p>地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施</p>	対象者なし		なし
3	<p>(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)</p> <p>子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備</p>	対象者なし		なし
4	<p>児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有</p>	保育所等と情報を共有している。		保育所等との打ち合わせ等の機会を計画的に行う。
5	<p>放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、</p>	対象者なし		今後、情報提供出来るよう行う予定。

	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	研修があれば、受講している。		児童発達支援センター等専門機関との連携を行う。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	近隣に児童館等がないため、交流が出来ていない。	どちらとも言えない。	公園遊び等において、地域の子どもたちと交流出来る機会を定期的に行う。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	実施出来ていない。	どちらとも言えない。	どんな行事が地域住民に参加してもらえるか、検討する。
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	出来ている。	出来ている。	なし
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	出来ている。	満足している。	なし
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	個別面談時に実施している。	どちらとも言えない。	保護者との面談等に、支援を実施して行きたい。

4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	出来ている。	出来ている。	利用時に、保護者との共通理解を深める。
5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	出来ている。	どちらともいえない。	利用時に、保護者に対して必要な助言を実施している。
6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	実施出来ていない。	どちらともいえない。	今後検討していく
7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	迅速な対応を心掛けている。	出来ている。	対応体制を充実させて、迅速に対応出来るように努る。
8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	配慮している。	出来ている。	職員間で情報共有や伝達方法等を配慮出来るよう確認している。
9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	出来ている。	出来ている。	次月の予定や近況の報告などをライン・メールで発信している。
10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	出来ている。	出来ている。	職員間で、定期的に個人情報の取り扱いの研修を行っている。

非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	出来ている。	出来ている。	訓練を実施して、マニュアルについて、確認している。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	実施している。	出来ている。	年4回、避難訓練を実施している。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	実施している。		年2回研修を行っている。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	対象児なし		
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	対応出来ている。		対象児に対して、把握出来ている。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	出来ている。		職員間で、共有している。